

事務事業名	八田農業者健康管理センター維持管理事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5186									
			所属課室	健康増進課		課長名	櫻田 正文									
	☐ 実施計画事業		所属担当	健康企画担当		担当者名	矢崎 貢司									
基本政策	基本計画	18 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政 策	計画体系	31 健康づくりの推進	事業区分	01	一般	0	4	0	1	0	1	0	4	0	0	3
施策		31 保健・医療の推進		☐ 国の制度による義務的事業	☒ 施設等維持管理事業											
				☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業											
				☐ 市の制度による義務的事業	☐ その他の事業											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度)		法令根拠	南アルプス市健康管理センター条例												
	☐ 期間限定複数年度 (年度)			南アルプス市健康管理センター条例施行規則												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 警備、定期清掃、消防設備、電気設備、空調設備等の維持管理を日常点検と業務委託により行っている。 主に八田地区の健康診断等に利用されている施設です。		事業費の主な内訳 (22年度)													
			項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)							
			光熱水費		1,059											
			施設維持管理委託料		252											
			設備維持管理委託料		719											
								計		2,030						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	保健推進活動の場として、安全かつ効率的に利用できるよう維持管理を行った。
23年度活動予定	保健推進活動の場として、安全かつ効率的に利用できるよう維持管理を行う。
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
八田農業者健康管理センターの利用者	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
利用者が施設を安全で快適に利用できるよう適正な維持管理を行う。	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
健康づくりの推進	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
A 八田の農業者健康管理センターで実施される保健事業数	回
I	
U	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
A 施設の利用団体数	団体
I 施設の利用者数	人
U	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
A 事故件数	件
I 苦情件数	件
U	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
A がん健診受診率	%
I	

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	1,947	2,030	2,062	2,014	2,014	2,014	
		事業費計 (A)	千円	1,947	2,030	2,062	2,014	2,014	2,014	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	10	10	10	10	10	10	
		人件費計 (B)	千円	45	45	40	40	40	40	0
		(A) + (B)	千円	1,992	2,075	2,102	2,054	2,054	2,054	0
活動指標		アイウ	回	15.0	12.0	10.0	10.0	10.0	10.0	
		アイウ	団体 人	16.0 1,473.0	3.0 1,507.0	3.0 1,500.0	3.0 1,500.0	3.0 1,500.0	3.0 1,500.0	
成果指標		アイウ	件 件	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	
		アイ	%							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	S56年の施設の完成と同時に維持管理事業が開始された。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	当該施設は総務課所管の文書保管庫となっているスペース等もあり、保健関係団体等に貸し出しできる部屋が少なく、市が主催する健診や各種説明会等に主に利用されている。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	市議より平成23年3月議会において、管理を民間へ委託するか又は指定管理者制度を導入する考えがあるかとの内容の一般質問あり。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている 【内容！】 ☐ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	現在は市が行う健診等にもみ使用している状況であるため、健診会場の代替施設を探し、他の用途として使用できるよう検討している。
H 22年度に実施した改革改善の内容	上記内容の検討を行った。

事務事業名	八田農業者健康管理センター維持管理事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている 【理由↓】 八田地区の健診会場となっており、健康づくりの推進に役立っている。
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☒ 見直し余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 妥当である 【理由↓】 民間等への委託も考えられるが、当該施設は文書保管庫等に利用されているスペースが多く、貸し出しを出来る部屋は少ない。また、当該施設は建築基準法の新耐震基準を満たしていないため、民間委託も困難であると考えられる。
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である 【理由↓】 現在は八田地区の健診等にのみ利用している状況ではあるが、地区住民が健診を受けるにあたっては、身近で利便性が良い施設であるため、八田地区の健診会場の代替施設の目処が立たない現状では継続して維持管理を行う必要がある。
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない 【理由↓】 今まで施設に対する苦情や利用中の事故はなく、適切な管理ができているため。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☒ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 統合・連携ができない 【理由↓】 市内に保健センターは数箇所あるが、八田地区の健診会場となっており、地域住民の利便性を鑑みると統合等は困難である。 ☐ 類似事務事業がない
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 身近な健診会場がなくなり、利便性が低下する事で健診の受診率も低下すると思われる。また、当該施設は国・県の補助金をいただき建設された為、取壊し等を行うには多額の返還金が生じるとされる。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 左記のような影響があるため。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 維持管理に必要最小限の保守業務を業者への委託で行っており、これ以上の削減は困難である。
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 施設の現状から外部委託は困難である。
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 施設の維持管理は利用者が安全に利用できるように行うものであるため公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	殆どの利用者は総合健診で利用し、日数も12日程度の使用しかない状況である。また一般の利用者は皆無に近いほどの状態である。2階は総務課の文書保存庫になっているため、今後は見直し余地は必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☒ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☒ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☒</td><td>☐</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☒	☐		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☒	☐																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td><td></td></tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td><td></td></tr> </table>	成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果																		
成果優先度評価結果																						
コスト削減優先度評価結果																						